

月次レポート

第5号

2009年4月8日作成

ユニオンファンド

追加型株式投資信託／ファンド オブ ファンズ
(分配金再投資専用)

～ マークのなかに託した私たちの想い ～

4世代(おじいちゃん・おばあちゃん、熟年世代、勤労世代、お子さんやお孫さん)をあしらいました。
ハンドinハンドで親近感や繋がり・絆を深め、
幸せの輪をひろげようという想いを込めています。



Union Asset Management Inc.
ユニオン投信株式会社

「ユニオンファンド」の「月次レポート」(2009年4月8日作成)をお届けします。

運用状況のご報告

ユニオンファンド概況

	2009年3月31日現在	基準価額と純資産額の推移
基準価額	9,349円	
純資産額	2億4,277万円	

■ 期間別騰落率(%)

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	設定来
+8.46%	+5.45%	—	—	-6.51%

■ 組入れファンドの内訳 (組入比率は3/31付け)

ファンド名	主な地域	組入比率	目標組入比率	目標比
さわかみF	日本	19%	20%	-1%
キャピタルF	欧米	24%	27%	-3%
ハリスF	欧米	17%	18%	-1%
コムジエスF	アジア	34%	35%	-1%
キャッシュ	—	6%	—	6%

ファンドマネージャー コメント

■ 投資環境と見通し

ユニオンファンドの「目標」投資配分は、世界の株式市場シェアに比べ、「エマージング」のウエイトを「高め」とし、「欧米」を「低め」としています。これは「エマージング」が伸び盛りの高成長市場であり、「欧米」が成熟した低成長市場であるからです。一方「日本」は低成長市場ですが身近な精通した市場であるため「高め」としています(具体的「目標」数値は<「ユニオンファンド概況」補足コメント図4>をご覧ください)。

日本を含め先進国市場が成熟・低成長市場であると考えられている背景は次の様な観点からです。

- ① 「豊か」であるため「欲しいものが少ない」・・・「消費」が伸び悩み
- ② 「豊か」であり「人件費が高い」ため「仕事が少ない」・・・「雇用」が伸び悩み
- ③ 「豊かさ」を享受するため? 「出生率が低い」・・・「人口」が伸び悩み

反対に「エマージング」が高成長市場であると考えられている背景は次の様な点からです。

- ① 「低賃金」の若年「労働力」が多いため先進国からの「仕事が多い」・・・「雇用」「所得」の伸びが大きい
- ② 「欲しいものが多い」ため、「消費」の伸びが大きい
- ③ インフラ整備が不十分であり、内需拡大の余地が大きい

◆ このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆ 当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆ このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

今回の「米国住宅バブル」発生の過程で主要「エマージング」諸国は先進国向け輸出を大幅に拡大させました。これが「所得増」「消費増」「税収増」をもたらし、大規模な「インフラ整備」につながっています。現在先進国の景気急落の影響を受けていますが、「外貨が潤沢」であることから先進国市場よりも早く回復できるものと考えています。現に中国・インド・ブラジルなどの自動車販売は最近の金融緩和の効果などから増加傾向にあります。

一方日本は、戦後ベビーブームのなかで教育水準の高い勤勉・器用な「低賃金・労働力」を豊富に抱えていたため、欧米先進国の「工場」としての地位を確立し、輸出拡大を続けることができました。このため「所得増」「消費増」「インフラ整備」を一気に実現することができ、1980年代後半の「不動産バブル」期には先進国の仲間入りを果たすことができました。しかしその後は、「ベルリンの壁崩壊」「不動産バブル崩壊」「生産人口減少」などを通じて「空洞化」が進み、長期低迷を余儀なくされています。人口増は爆発的成長の基礎となるものです。産業革命を背景とした1800年代の「大英帝国」も人口が最も増えた時代です。その点、今後の日本は大きな人口減少を伴うことから厳しい成長環境にあります（日本の人口推移：1900年＝44百万人、2000年＝127百万人、2100年推計＝48百万人（注）出生中位・死亡中位・・・国立社会保障・人口問題研究所）。このため日本株を長期に投資していく上では人口成長率の高い海外向けに個性ある高付加価値製品で利益を上げていける企業群が魅力的と思われる。現在、海外販売低迷・円高などで苦戦をしているこれら外需企業が極めて割安な株価となっています。このため現状では「日本」のウエイトを相対的に「高め」にしています。しかし、株価が活況を呈し割高となる局面では見直しを考えます。

■ 運用報告

■ ユニオンファンドは、

①「株式」に投資する ②「グローバル」に投資する ③インデックスでなく「アクティブ」に投資する、世界中のファンドの中から実績を挙げてきた4つのファンドに投資しています。

■「目標」投資配分としては上記の通り、世界の株式市場シェアに比べて「日本」と「エマージング」のウエイトを高めとし、「欧米」を低めとしています。3月は先月と同じ投資配分で運用しました。

■長期投資の観点から現状は極めて魅力的な水準にあると判断し、引き続き「強気」スタンスで臨んでいます。3月中の組み入れ比率は94～98%で推移し、平均96%、月末時94%となっています。

■3月の株式市場は、金融不安が続く中で、各国の「消費拡大策」・米国の「不良債権買取策」・「主要米銀の収益改善見込み」などから、売り方の買い戻しもまじえ月末にかけ急上昇しました。

■ユニオンファンドの3月実績は初旬までジリ安基調が続き3/11に8,136円の最安値を付けましたが、月末にかけ高騰し3/30には9,701円まで回復しました。3月末は9,349円でした。

■ 今後の運用方針

● ファンド選定

当面、現在の4つのファンドに投資していきますが、投資妙味あるファンドへの目配りも続けます。

● 目標組入比率

現在の目標組入比率を維持します。

・・・さわかみF:約20%、キャピタルF:約27%、ハリスF:約18%、コムジェストF:約35%

● 株式組入比率

原則「フル運用」(98%程度)としますが、新規資金の増加や組入単位との兼ね合いなどから、多少低めになることがあります。

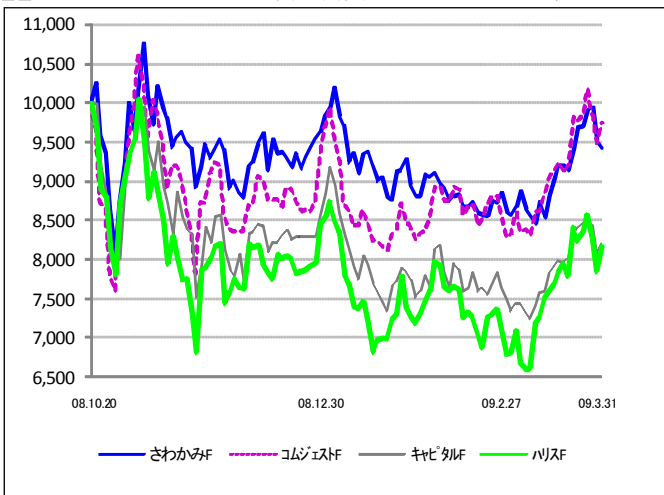
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

「ユニオンファンド概況」補足コメント

■ 図1 組入ファンドの基準価額推移(2008.10.20=10,000)



>> 図1 基準価額推移

4ファンドとも3月初旬を底に急回復。
3月の騰落率は次の通り。…「ハリスF:13.5%」、「コムジェストF:11.7%」、「さわかみF:9.0%」、「キャピタルF:2.9%」。

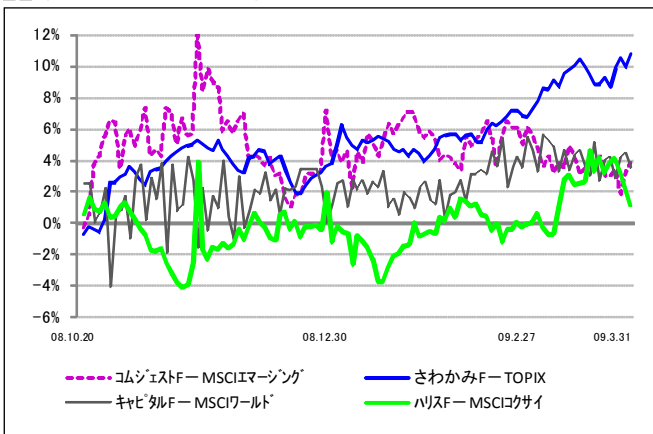
>> 図2 相対パフォーマンス

売り込まれていた輸出関連株の上昇などから「さわかみF」が引き続き堅調な動き。苦戦を続けていた「ハリスF」は金融株回復によりプラスゾーンへ。
4ファンドともインデックスを上回る実績。

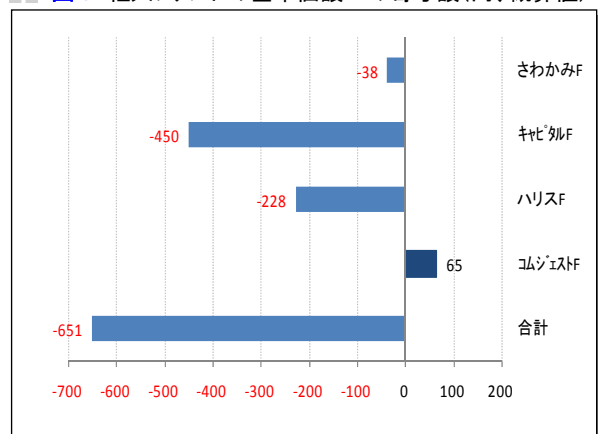
>> 図3 寄与額

3月末の基準価額が9,349円となっているため、651円の評価損に。その内訳を4ファンドに分解すると第3図の通り。「コムジェストF」がプラス寄与に。

■ 図2 組入ファンドの相対パフォーマンス(インデックスとの比較)



■ 図3 組入ファンドの基準価額への寄与額(円、概算値)



>> 図4 時価総額シェア・目標投資比率

時価総額シェア…2月に続き3月も「エマージング」が上昇し、「欧米」が低下。日本は横這い。

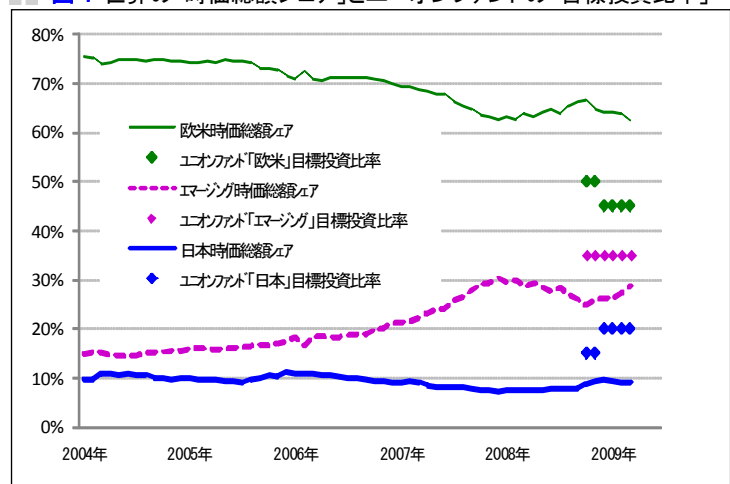
目標投資比率……変更なし。

日本 :20%(シェア比+11%)
欧米 :45%(シェア比▲17%)
エマージング:35%(シェア比+6%)



運用部長(ファンドマネージャー)
坂爪 久男

■ 図4 世界の「時価総額シェア」とユニオンファンドの「目標投資比率」



(出所)「時価総額シェア」:ユニオン投信株式会社調べ

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

組入れ4ファンドの状況

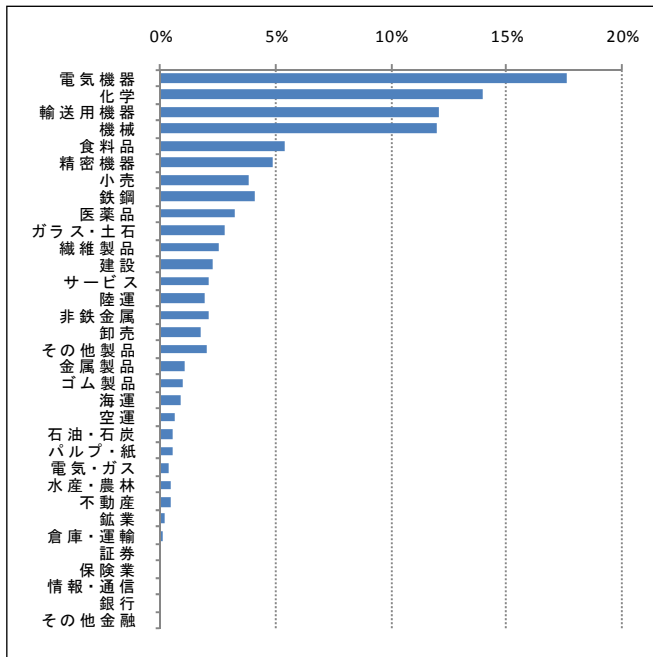
■ さわかみF（さわかみファンド）

■ 株式組入上位 10 業種等

2009年3月末現在

	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	トヨタ自動車	2.5%	日本	輸送用機器	自動車世界トップ
2	デンソー	1.8%	日本	輸送用機器	トヨタグループの中核
3	信越化学	1.8%	日本	化学	塩ビ・シリコンウエハー世界大手
4	ホンダ	1.6%	日本	輸送用機器	二輪トップ、四輪大手
5	コマツ	1.5%	日本	機械	建設機械でキャタピラーと双壁
6	テルモ	1.4%	日本	精密機械	医療器具(カテーテル)主力
7	シャープ	1.4%	日本	電気機器	液晶テレビ世界大手
8	パナソニック	1.3%	日本	電気機器	総合家電首位
9	クボタ	1.3%	日本	機械	農業機械の世界的大手
10	花王	1.2%	日本	化学	トイレット紙首位
上位 10 銘柄		15.7%			
その他 239 銘柄		80.6%			
キャッシュ		3.7%			

■ 業種別構成比



業種：東証 33 業種

構成比：現物ポートフォリオに占める比率（キャッシュ含まず）

≫ ユニオン投信株式会社としてのコメント

◆組入銘柄数は 249 と多いが（他の日本株アクティブファンドは平均 100 銘柄程度）、業種のメリハリを効かせることで個性あるポートフォリオを作り上げている。

◆具体的には、以下の特徴がある。

- (1) 電気機器、化学、機械、輸送用機器、精密、鉄鋼など「ものづくり」企業の比率大。
- (2) 食料品、小売、建設などの「生活関連」企業の比率大。
- (3) 金融、公益、通信、不動産などの「内需型」企業の比率小。
- (4) 割安になった外需・国際優良株が組入上位。上昇局面でプラスに寄与。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ キャピタルF (CIF グローバル・エクイティ・ファンドクラスA)

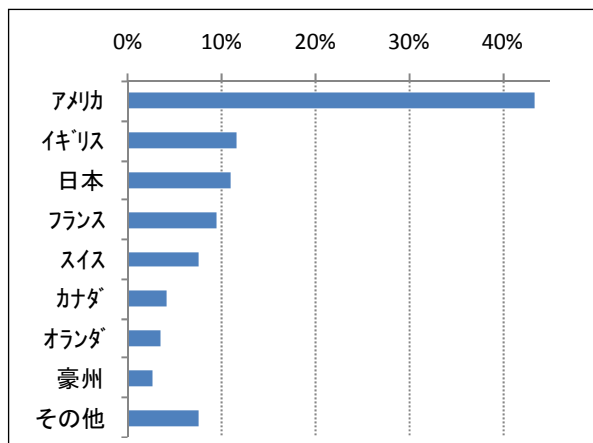
■ 株式組入上位 10 業種等

業種: MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター

2009 年 2 月末現在

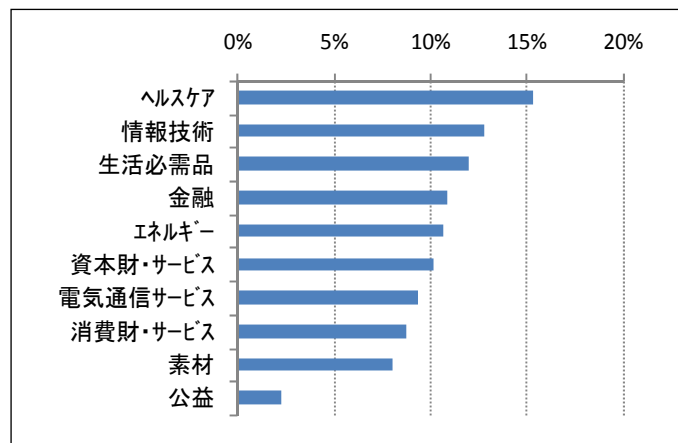
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	Roche	2.9%	スイス	ヘルスケア	医薬品大手
2	Abbott Laboratories	2.5%	アメリカ	ヘルスケア	医薬品・医療機器
3	BP	2.2%	イギリス	エネルギー	石油ガス
4	Royal Dutch Shell	2.0%	オランダ	エネルギー	石油ガス
5	PepsiCo	2.0%	アメリカ	生活必需品	飲料大手
6	SABMiller	1.8%	イギリス	生活必需品	ビールメーカー大手
7	AT&T	1.8%	アメリカ	電気通信サービス	通信大手
8	KPN	1.6%	オランダ	電気通信サービス	通信大手
9	Bouygues	1.6%	フランス	電気通信サービス	通信大手
10	Celgene	1.5%	アメリカ	ヘルスケア	急成長バイオ
上位 10 銘柄		19.9%			
その他		75.0%			
キャッシュ		5.1%			

■ 国別構成比 (マザーファンド)



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

■ 業種別構成比 (マザーファンド)



業種: MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター

構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

>> ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆ 日本を含む先進国に幅広く投資。
- ◆ インデックスに対し大きな偏りをとらず、長期間の安定的な超過収益を狙うファンド。
- ◆ 「金融」比率を低め、「ヘルスケア」「エネルギー」「資本財」にシフト。

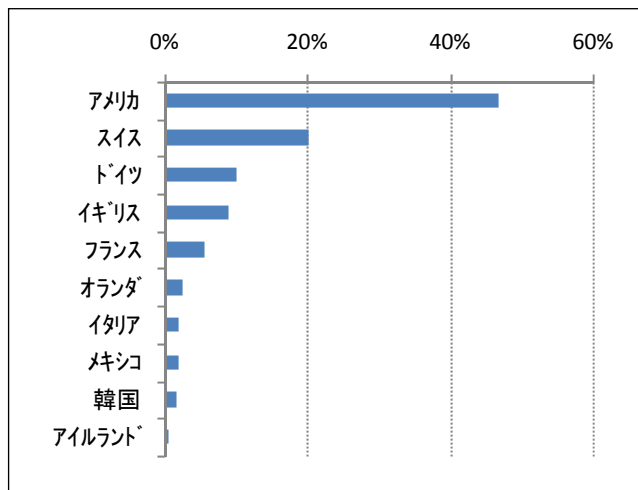
◆ このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
 ◆ 当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。
 ◆ このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ 株式組入上位 10 業種等

業種: MSCI 世界産業分類基準の 24 グループ 2009 年 2 月末現在

	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	INTEL	7.3%	アメリカ	半導体・同製造装置	世界最大の半導体メーカー
2	HEWLETT PACKARD	4.8%	アメリカ	テクノロジー・ハード機器	コンピューター関連大手
3	BANK OF NEW YORK MELLON	4.4%	アメリカ	各種金融	金融大手
4	CREDIT SUISSE	4.2%	スイス	各種金融	金融大手
5	ADECCO	4.0%	スイス	商業・専門サービス	人材派遣世界展開
6	JULIUS BAER	4.0%	スイス	各種金融	プライベートバンク
7	JPMORGAN CHASE	3.7%	アメリカ	各種金融	金融大手
8	PUBLICIS	3.7%	フランス	メディア	広告代理店
9	SAP	3.6%	ドイツ	ソフトウェア・サービス	ソフトウェア世界展開
10	FRANKLIN RESOURCES	3.5%	アメリカ	各種金融	資産運用(フランクリン テンプルトン)
上位 10 銘柄		43.2%			
その他 30 銘柄		49.9%			
キャッシュ		6.9%			

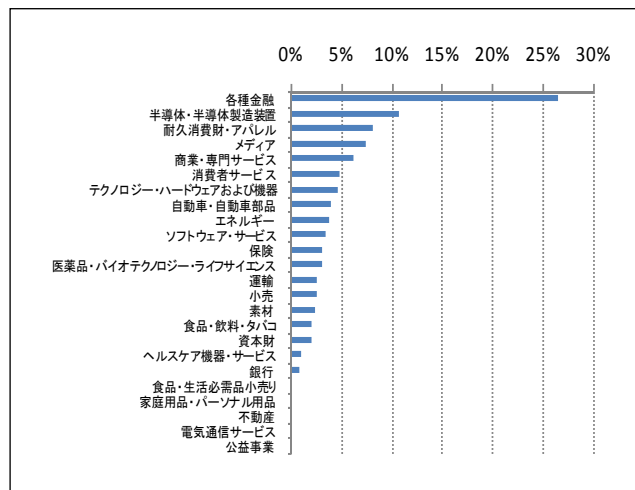
■ 国別構成比 (マザーファンド)



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

■ 業種別構成比 (マザーファンド)

※2009 年 3 月末現在



業種: MSCI 世界産業分類基準の 24 産業グループ
構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

≫ ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆ 割安な 40 銘柄程度に絞り込んで運用するファンド。日本を除くグローバルに投資。
- ◆ 2007 年 7 月のファンド設定以来、「金融」を一貫して 3 割程度組入れ。
- ◆ 3 月は大きな変更なし。「金融」高位維持と景気敏感へのシフトがプラス寄与。

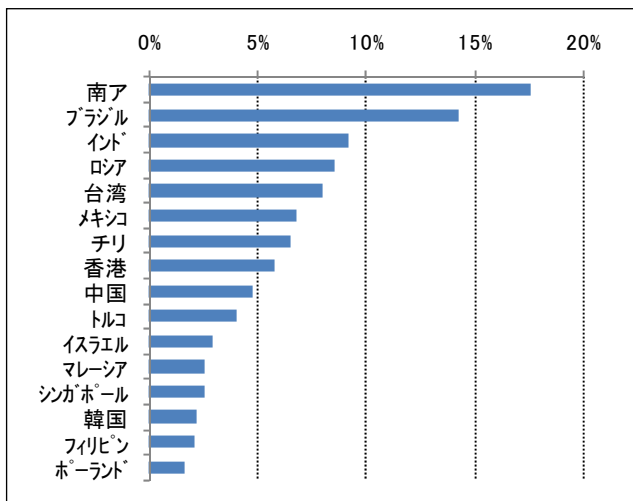
◆ このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
 ◆ 当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。
 ◆ このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ 株式組入上位 10 業種等

業種:MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター 2009 年 3 月末現在

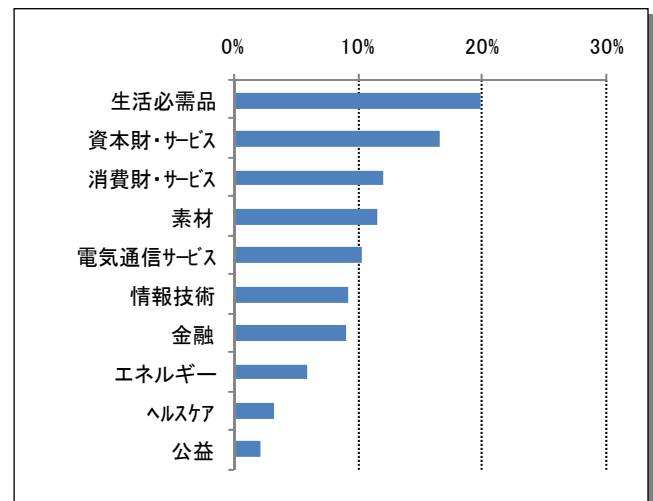
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR	4.2%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2	GOLD FIELDS	3.8%	南ア	素材	金鉱開発
3	EMPRESAS COPEC	3.6%	チリ	資本財・サービス	石油ガス・農林水産
4	MTN	3.6%	南ア	電気通信サービス	携帯電話会社
5	IMPALA PLATINUM	3.3%	南ア	素材	プラチナ鉱山
6	CIPLA	3.2%	インド	ヘルスケア	医薬品
7	JBS	3.1%	ブラジル	生活必需品	食肉加工
8	SASOL	2.9%	南ア	エネルギー	石油ガス精製
9	BHARAT HEAVY ELECTRICALS	2.9%	インド	資本財・サービス	総合インフラ関連
10	AMDOCS	2.9%	イスラエル	情報技術	ソフトウェア開発・サービス
上位 10 銘柄		33.5%			
その他 34 銘柄		64.1%			
キャッシュ		2.4%			

■ 国別構成比 (マザーファンド)



構成比：現物ポートフォリオに占める比率（キャッシュ含まず）

■ 業種別構成比 (マザーファンド)



業種：MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター
構成比：現物ポートフォリオに占める比率（キャッシュ含まず）

≫ ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆新興国の割安な 50 銘柄程度に絞り込んで運用するファンド。
- ◆財務体質が健全で情報開示の透明性が高い割安な企業に選別投資。
- ◆衣食住・インフラ等生活関連銘柄のウエイトが高い。
- ◆「金融(=不動産)」「公益」「生活必需品」の引き下げ、「資本財」「消費財」「エネルギー」などの引き上げがプラス寄与。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
 ◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。
 ◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

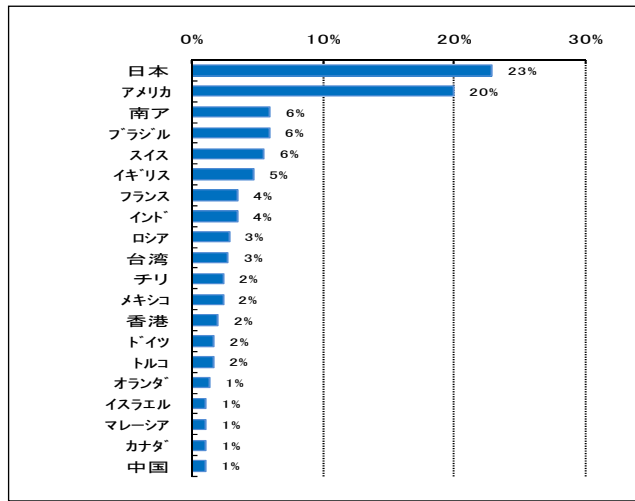
ユニオンファンド(組入れ4ファンド トータル)の状況

■株式組入上位 20 業種等

業種:MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター 2009 年 2 月末現在

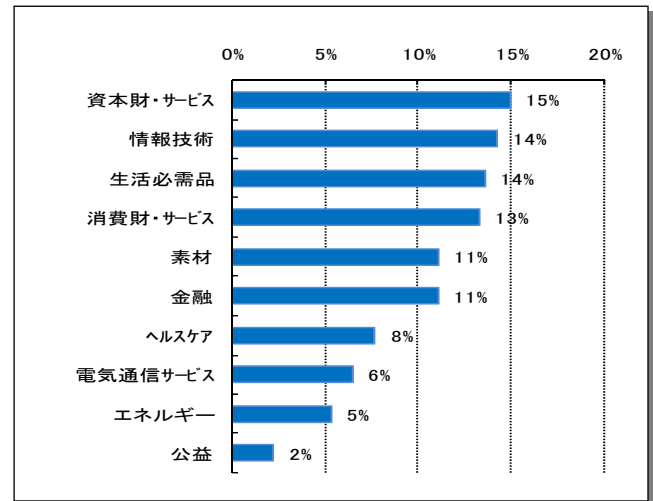
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等	主要組入F
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR	1.4%	台湾	情報技術	半導体メーカー	コムジエトF
2	GOLD FIELDS	1.3%	南ア	素材	金鉱開発	コムジエトF
3	EMPRESAS COPEC	1.3%	チリ	資本財・サービス	石油ガス・農林水産	コムジエトF
4	INTEL	1.3%	アメリカ	情報技術	世界最大の半導体メーカー	ハリスF
5	MTN	1.2%	南ア	電気通信サービス	携帯電話会社	コムジエトF
6	ITC	1.1%	インド	生活必需品	生活関連コングロムリット	コムジエトF
7	CIPLA	1.1%	インド	ヘルスケア	医薬品	コムジエトF
8	BHARAT HEAVY ELECTRICALS	1.1%	インド	資本財・サービス	総合インフラ関連	コムジエトF
9	IMPALA PLATINUM	1.1%	南ア	素材	プラチナ鉱山	コムジエトF
10	JBS	1.1%	ブラジル	生活必需品	食肉加工	コムジエトF
11	CHEUNG KONG	1.1%	香港	金融	金融大手	コムジエトF
12	HEWLETT PACKARD	0.8%	アメリカ	情報技術	コンピューター関連大手	ハリスF
13	ROCHE	0.8%	スイス	ヘルスケア	医薬品大手	キャピタルF
14	BANK OF NEW YORK MELLON	0.8%	アメリカ	金融	金融大手	ハリスF
15	CREDIT SUISSE	0.7%	スイス	金融	金融大手	ハリスF
16	ADECCO	0.7%	スイス	資本財・サービス	人材派遣世界展開	ハリスF
17	JULIUS BAER	0.7%	スイス	金融	プライベートバンク	ハリスF
18	Abbott Laboratories	0.7%	アメリカ	ヘルスケア	医薬品・医療機器	キャピタルF
19	JPMORGAN CHASE	0.6%	アメリカ	金融	金融大手	ハリスF
20	PUBLICIS	0.6%	フランス	消費財・サービス	広告代理店	ハリスF
上位 20 銘柄		19.3%				
その他銘柄		79.0%				
キャッシュ		1.7%				

■国別構成比



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

■業種別構成比



業種: MSCI 世界産業分類基準の 10 セクター
構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

>> コメント

- ☆組入上位 20 銘柄: 40 銘柄程度に絞り込んでいるコムジエトF・ハリスF の組入銘柄が上位に。
- ☆国別構成比: 日本・アメリカが 2 割程度で 1・2 位に。次いで南ア・ブラジル・インド・ロシアなどの新興国が上位に。
- ☆業種別構成比: 資本財・サービスから金融まで 6 業種が 10~15% の比率。全体的に好バランス。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

やがて来る春のために

ユニオン投信株式会社
監査役
辻 正明



こんにちは！ ユニオン投信の辻正明です。

このレポートが皆さんの手元に届くころには、ちょうど桜前線はユニオン投信のある松本市辺りまで北上していることと思います。厳しい冬を耐えて咲き競う信州の桜は、残雪光るアルプスの山並みを背景にひときわ美しく映り、この季節の素晴らしさをしみじみと実感させてくれます。（と、いいつつ私にとっては花粉症にも悩まされる季節でもあるのですが・・・）

桜の花咲く4月は多くの企業が、新入社員を迎える季節でもあります。今年の新入社員は採用枠も急激に細り、最悪の場合内定取り消しも・・・、という厳しい就職戦線を経て社会人としての一步を踏み出し、いざ職場に配属されてもこの先しばらくは“現場に仕事が無い”という事態も起きているのかもしれない。彼らの「会社で働く」という事に対するモチベーションがどう維持されていくのか？気になると共に先輩社会人の一人として何を伝えていくべきか、悩ましいところです。

この現実を受けて、ようやくと言うべきか、日本でも3月23日に政労使によるワークシェア導入に向けての合意『ワークシェアリングについての基本的考え方』が発表されました。今後の具体的な検討に向けての指針となる程度のものであり、現実的な施策については労使間の今後の協議にゆだねられています。

労使双方が痛みを分け合うこの取り組みには、この先まだまだ越えるべきハードルは幾つもあると思われませんが、仮にこの思想なりシステムが社会に定着していった時、私たち現役世代が生活の糧を得るために費やす労働時間の何%かは、社会の仕組みの中で他の目的に使うことになります。

その時間をいかに自分にとって実りある豊かなものとして使うか、それも自分にとっての投資のひとつであり、将来にわたる経済的な不安を払拭するための資産運用と併せて求められる、“生活の質を高める”という作業に他ならないのではないかと思います。

ところでユニオン投信の“産みの親”セイコーエプソン労働組合では毎年2回、ボーナスの時期に全社員に向けてカンパを呼びかけ、その集まったお金で地域の福祉団体が必要とされる機材等を購入して寄付しています。どのような団体に寄付をするのか、その判断の指標としては以下の点を重視しています。

- ・ 社会的弱者（家庭環境や障がいといったハンディのある方、子供）の生活支援を目的とする
- ・ セイコーエプソン従業員や家族が何らかの関与をしている

会社員としての顔以外にも、いろんな形で地域社会と関わりを持つ社員を、何かの形で応援したい、労組が応援することで、活動の参加者や支援の輪が広がればいい、そんな思いでここ数年継続している活動です。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

地域のボランティア活動やNPOへの参加、もっと身近なところではPTAや地区の世話役活動なども含めて、普段の何気ない人付き合いの中でも新しい自分を発見する。それが日々の生活の中に変化を生み、充実した生活を実感できる。そのための時間の使い方をこの機会に考えてみてはいかがでしょうか。

経済の悪化が生んだ働き方の変化もネガティブな面だけを見るのではなく、そこから自分にとってのチャンスを見出していく、そんな発想が求められているのかもしれない。

昨秋からの市場の状況はまさに信州の冬のように、厳しい状態が続いています。でも季節は巡り、いつか必ず春が訪れるもの。やがて来る春に備えてしっかり地に根をはり、養分を蓄える桜のように、私たちの家計も、ライフスタイルそのものもじっくりと仕込みをする時期にあると感じています。

私たちが立ち上げたこのユニオン投信が、母体であるセイコーエプソン労働組合の社会貢献活動と共に、そんな皆さんの物心両面での豊かさを実現するための一助になればうれしいです。

平成 21 年 4 月 8 日

雑 感

ユニオン投信株式会社
コンプライアンス室長
鈴木 重弘



世界地図、都道府県別地図、道路地図など、いろいろな地図を広げて未知の場所を調べたり、旅行から戻って地形を確認したり…趣味といえるほどのものではありませんが、こうした時間はなぜか気持ちが落ち着きます。ローカル線の旅へ出かける時は、国土地理院の“二十万分の一地形図”を片手に車窓を楽しみます。海外旅行の経験は少ないのですが、インターネットのグーグル地図を併用しながら地図帳を眺めていると、ますます訪ねてみたくなる所、逆にそれだけでなんとなく現地へ行ったつもりになってしまう場所など、時間が経つのを忘れてしまいます。最近の地図帳は“鳥瞰図”^{ちようかんず}を多く取り入れるなどいろいろ工夫が施されて、いっそう楽しく見られるようになったのは、ありがたいことです。

早春のある日、安曇野へ出かけてきました。まだ風が冷たい中、わさび田には緑が広がり、可愛いわさびの花が咲き始めていました。早春賦^{そうしゆんぷ}の歌碑からほど近い穂高町の田んぼでは、白鳥たちが北紀行を間近にしてのんびり羽を休め、トビが常念岳から鹿島槍ヶ岳・白馬三山に連なる白銀の峰々を見渡しながらゆったりと青空を舞っていました。野道を歩く私たちと違って、トビの目には、常念岳などの向こうに奥穂高岳や槍ヶ岳などの素晴らしい眺めも映っているのだらうと思いを馳せました。

さて現実の経済・金融環境はこんなにもどかな状況ではありません。一昨年来、世界経済は百年に一度の大津波に見舞われました。サブプライムローン問題を端緒とした米国の金融危機は、各国への金融不安の連鎖となってアツという間に地球を一周し、世界経済は大きく底割れしました。しかし、米国オバマ新政権が矢継ぎ早に“打つ手”を発表し、各国も財政・金融両面から対策を講じてきています。“景気循環”のとおり、世界経済は早晚底割れから持ち直し、回復軌道へ転換していくことでしょう。ただ、その過程で各国の経済力・基盤の違いが一層明確となり、日本・欧米・新興国がそれぞれの特色を発揮してくると思われまます。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

我が国も、景気が回復して厳しい世相が落ち着くことを願う気持ちでいっぱいです。大切な「資産運用」において“長期投資のスタンス”が肝心なことは申すまでもありませんが、世界各国の経済がこれまでの軌道を修正して出直る時期でありますから、正にグローバルな視点から投資を吟味することも肝要ではないでしょうか。信州松本から大きな飛行船に乗って世界を見渡し、各国経済を“鳥瞰^{ちようかん}しよう”・・・そんな雰囲気^{ふんぎ}が社内には溢れています。

“山椒は小粒でもピリリと辛い”と言われるよう皆で励んでいます。お近くにお出かけの節はお立ち寄りください。お待ちしております。

平成 21 年 4 月 8 日

『ユニオンファンドのリスク』

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。 －

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの方式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」などがあります。

『ユニオンファンド』の手数料

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手数料等および税金」をご覧ください。 －

【申込手数料】・・・お申込みにあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。

※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

【換金手数料】・・・ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。

【信託報酬】・・・総資産総額に年 0.84%（税抜き 年 0.8%）の率を乗じて得た額です。

毎日、当ファンドの投資信託財産より控除されます。

[実質的な信託報酬※ 信託財産の純資産総額に対して年 1.9%±0.3%（概算）]

※『ユニオンファンド』は他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。

【信託財産留保金】・・・信託財産留保金はありません。

【その他の費用】・・・『ユニオンファンド』に組み入れるファンドを売買する際に発生する売買手数料およびこれにかかる消費税に相当する額は投資信託財産より控除されます。

※実際の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

◆ 業務管理部よりお知らせ ◆

◆ 「特定口座」をご開設されていないお客様へ

平成 21 年 5 月 31 日までに「特定口座」をご開設いただかない場合、現在保有されている「ユニオンファンド受益権」は「特定口座」への移管が出来なくなり「一般口座」での保有となりますのでご注意ください。

《「一般口座」での保有の場合》

売却益が出た場合、原則として「確定申告」が必要となります。

お客様ご自身で年間の譲渡損益を計算し、申告書類を作成いただくことになります。

《特定口座をご開設された場合》

「特定口座」の「源泉徴収あり」をご選択いただくと、換金の都度、弊社にて税額の計算、源泉徴収および還付を行いますので、「確定申告」が不要になります。

「特定口座」の開設をご希望されるお客様は「特定口座約款」をお読みいただき、内容を十分にご理解のうえで「特定口座開設届出書」にてお申込みください。

《お申込みはお早めをお願いいたします》

特定口座への移管をご希望される場合は、「特定口座開設届出書」をご返送ください。

弊社への届出書到着日	特定口座の開設・保有残高の移管日
平成 21 年 5 月 31 日まで	お客様より書類到着次第、順次移管

◎ 紛失などにより、「特定口座開設届出書」がお手元がない場合は、弊社(TEL:0263-38-0725)までご連絡ください。

◆ 定期定額購入について ◆

毎月 5 日(休日の場合は翌営業日)にご指定いただきました金融機関口座より自動引落としされ、8 営業日後の基準価額にて購入いたします。

なお、“新規申込み”“各種変更”には、締切日がございます。締切日を過ぎて届出書類が弊社へ到着した場合には、ご希望される月からは反映されませんのでご注意下さい。

定期定額購入スケジュール

ご不明な点などがありましたら、弊社業務管理部(TEL:0263-38-0725)までご連絡ください。

引落開始月	新規申込み 引落口座変更 締切日	金額変更 引落中止 締切日	ご指定の金融機関 口座からの引落日	ファンドご購入日 (約定日)
5 月	締切りました	4 月 16 日 (木)	5 月 7 日 (木)	5 月 19 日 (火)
6 月	4 月 28 日 (火)	5 月 21 日 (木)	6 月 5 日 (金)	6 月 17 日 (水)
7 月	6 月 3 日 (水)	6 月 19 日 (金)	7 月 6 日 (月)	7 月 16 日 (木)

◆ このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆ 当該投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

◆ このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。